

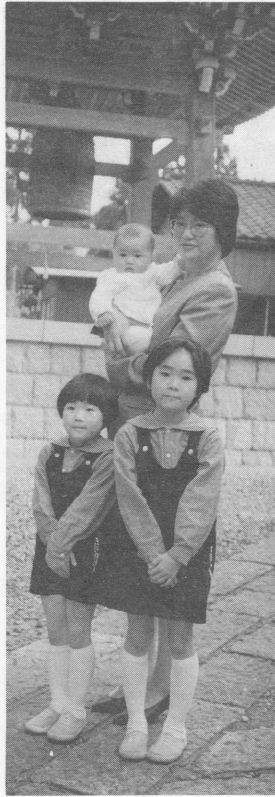
# よりだ寺福廣

20号

## 当院一家、自坊に帰りました

### 四月から よろしくお願ひします

当寺では四月から東京都立川市在住の当院の一家五人が自坊に帰ってまいりました。今まで住職と坊守二人きりのところが急に七人家族となりにぎやかになりました。これからは当院、若坊守として



寺務に専念する所存でございますので何卒よろしくお願ひを申し上げます。御門徒の皆様ともども親鸞聖人の本願念仏のみ教えを聞きひらき、手をたずさえて御同朋御同行としての道をあゆんでまいりたいと存じます。仏事の現場になれるまでこれから大変です。住職に代って皆様のお宅にお伺いすることも多くなりますが、皆様からお育てを頂くわけでございますので御指導御協力を伏してお願ひ申

し上げます。以下家族を紹介いたします。

当院「雅史」 三条高校を経て昭和五十五年

三月日本大学法学部法律学科卒業、同月本山

仏光寺で得度、僧籍に入り広福寺の寺格を継

承、同五十七年三月龍谷大学文学部仏教学科

卒業、東京都の多摩市立西落合中学校教諭、

東大和市立第三中学校教諭を歴任、本年三月

退職、自坊に帰ってまいりました。

若坊守「みゆき」三条高校を経て昭和五十三

年三月文教大学女子短期大学部文芸科卒業、

東京都の立川市立立川第七中学校教諭を本年

三月退職、自坊に帰ってまいりました。

長女「祥子」(しょうこ) 弥彦小学校二年三

組に転入させていただきました。

二女「諒子」(りょうこ) 桜井郷保育園ばら

組でお世話になることになりました。

三女「杏子」(きょうこ) 昨年の年の暮れに

誕生、生後五カ月ほど、二人の姉に人形のよ

うにあやされたりしごかれたりしています。

さて住職は真宗仏光寺派新潟教区の組長

(書記)を務め教区活動に追われていますが、

今年の本山の春安居(仏教や真宗の学問研修

の会)で研究発表を命じられ、「良寛と他力

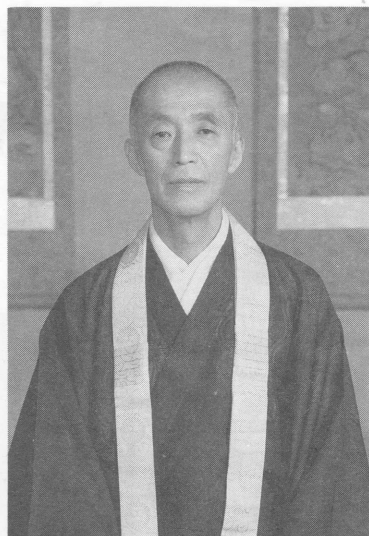
賛歌」と題して発表することとなり、昨年来

その準備に忙殺されております。

坊守は二、三年このかた手足や腰の骨が痛

み相変わらずの病院通いですが、久しぶりに

三人の孫に囲まれ小康を保っております。



## 本山前御門主さま御遷化

真宗仏光寺派第二十九代門主、無量徳院殿真照上人は、既報のとおり三月十三日、七十六歳で御遷化になりました。御葬儀は同月十九日しめやかに執り行われ当寺住職も葬儀事務局として参列させていただきました。本山参与の大谷統司氏も御夫妻で会葬されました。昨年九月三十日門主継職式があり、真承新門さまが第三十代御門主になられました。前御門主さまは昭和三十一年六月新潟教区へ御巡教になり当寺へもお立ち寄りをいただきました。また昭和五十八年六月の御遠忌に御下向になり満堂の参詣者に御親教を賜りました。庭儀式(おねり)にも親しく歩をお運びになりました。御遺徳をしのび皆様とともにども謹んでお念仏を申すのみであります。

(写真は当寺御遠忌に御下向の前御門主様)

## ▼聞法会主催経済講演会(平成4・11・1)

日本商工会議所指導講師 松宮信一先生

景気の回復は三年後 本格的な回復は三年後と考える。今までの高度成長が行き詰まり峠で一休みして次の段階に入る転換期とみられる。なぜそうだったか。能力以上の生活志向、曲がったキュウリが売れないから捨てられ、お米も弁当など三割は捨ててしまう。そうしてゴミの始末に困っている。ムダ使用による成長はやがて破局を迎える。それが今反省されている。回復といっても今までと同じ景気はもう二度とこないのではないか。続けたら世界から除けものになされてしまうだろう。



### 堅実な生活が大切

ら時代にとり残される。①昔からの食事、生活が見直される。②家庭生活を大切にしようになる。おミソの需要がふえ、晩酌向きのお酒が出回っているという。③日常生活も遊びも堅実になる。

### 将来の経済生活社会

①人口は一億人を割

る。八千万とみる。国土面積とのバランスから見て一億は多すぎる。②平均寿命は低下する。子どもに高血圧、糖尿病など成人病がふえている。スナック菓子を取りポリ食べてテレビゲームで眼だけ使い、運動しない。③収入の増加は大きくない。経済が停滞し高賃金を抑える。④外国人労働者は増加する。今後ふえるのは防げない。⑤社会で働く女性が増加するが家庭生活も大切にするようになる。子どもの夕食をレストランの定食にまかせ塾に通わせている母親がいる。子どもの養育費で他人(塾など)まかせにして働き、遊ぶことに反省感がでてくる。⑥本当にはしい品物サービスしか買わなくなる。⑦本来の食品と味が求められてくる。⑧これまでの浮き草のような生活は反省されてくる。それによって日本は繁栄し、反省がなければ衰退する。

### 新時代に心すべきこと

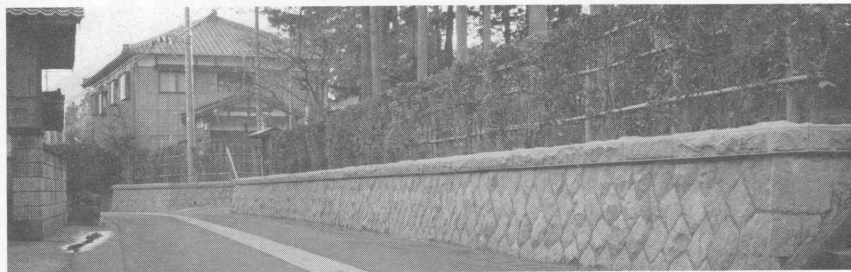
①流行を追わない。②先人の智慧を生活に生かす。③流行の知識でなく本当の知識を身につけていく。④農工商とも身についた知識を活用した事業・生活を確立すること。

工夫してつくってほしいこと ①特産品、催し事、街並み、施設など地域の再開発を。②地域、大衆のためになる「新型寺小屋」を活用してほしい。地域の人々のくらしに役立つ教育や相談の場、この講演会もそういう意味で寺院の新しい活動の場でありましょう。

## 広く浄土の門を開く

昨年大門の拡幅石垣工事が玉椿の生け垣移植、排水整地等の付帯工事も含めてすっかり出来上がり、安田ミカゲ谷積み美しい石垣は通行する人も歩を止めるほど、バスも門内

に出入り可能となり皆さんから喜ばれています。『帰三宝偈』に「今乗二尊教 広開浄土門」今、二尊の教えに乗じて、広く浄土の門を開く（今私は、釈尊と阿弥陀仏の教えに導かれて、この浄土へ至る道を広く大衆に説き明かそうと思います）」と示されています。



## 御寄進

次のような御寄進をいただきました。御懇念まことにありがたく御礼を申し上げます。

▼大門拡幅並びに石垣工一式（玉椿生け垣植栽・造園・排水整地等付帯工事とも）

燕市 大谷 統司 殿

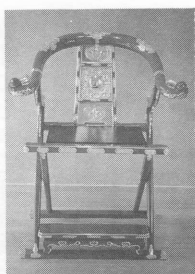
▼総朱塗金具打曲録（きょくろく）

一金 拾九万五千円也

東京都 松宮 信一 殿

▼葬儀用御本尊収納桐箱

矢作 大谷 若夫 殿



〔写真は曲録、寺の本堂で葬儀が執り行われるとき導師の用いる椅子、昔は火葬場まで運んで使用した〕

## ことしの年忌当たり年

|         |       |
|---------|-------|
| 1 周年忌   | 平成4年  |
| 3 周年忌   | 平成3年  |
| 7 周年忌   | 昭和62年 |
| 13 周年忌  | 昭和56年 |
| 17 周年忌  | 昭和52年 |
| 23 周年忌  | 昭和46年 |
| 27 周年忌  | 昭和42年 |
| 33 周年忌  | 昭和36年 |
| 37 周年忌  | 昭和32年 |
| 50 周年忌  | 昭和19年 |
| 100 周年忌 | 明治27年 |
| 150 周年忌 | 天明5年  |
| 200 周年忌 | 寛政6年  |



## I 平成4年度当寺勸金決算書

## 〔収入の部〕

| 科 目 | 決 算 額     |
|-----|-----------|
| 勸 金 | 2,178,000 |
| 雑収入 | 48,488    |
| 繰越金 | 165,882   |
| 計   | 2,392,370 |

## 負担金の内訳

|      |         |
|------|---------|
| 広福寺分 | 723,511 |
| 心光寺分 | 195,815 |

## 〔支出の部〕

| 科 目   | 決 算 額     | 摘 要         |
|-------|-----------|-------------|
| 寺務経常費 |           |             |
| 負担金   | 940,326   | 本山護持金・光寿堂懇志 |
| 事務通信費 | 97,273    | 複写・はがき・切手   |
| 会議費   | 66,950    | 世話方・総代会議    |
| 教化費   | 242,090   | 御布教・聞法金補助金  |
| 営繕管理費 | 293,250   | 本堂屋根修理・火災共済 |
| 門徒交際費 | 41,600    | 新築見舞・寄進人謝礼  |
| 小 計   | 1,681,489 |             |
| 事業費   | 637,400   | 杉伐採・大門拡幅土工事 |
| 繰越金   | 73,481    | 次年度へ繰越し     |
| 計     | 2,392,370 |             |

## II 平成5年度当寺勸金予算書

## 〔収入の部〕

| 科 目 | 予 算 額     |
|-----|-----------|
| 勸 金 | 2,100,000 |
| 雑収入 | 30,000    |
| 繰越金 | 73,481    |
| 計   | 2,203,481 |

## 〔支出の部〕

| 科 目   | 予 算 額     |
|-------|-----------|
| 寺務経常費 | 1,500,000 |
| 事業費   | 700,000   |
| 予備費   | 3,481     |
| 計     | 2,203,481 |

定例総代会議決議のお知らせ 去る二月七日の総代会議で別表ⅠⅡの決算書、予算書の案がそれぞれ承認されましたのでお知らせ申し上げます。京都の御本山仏光寺と広福寺のおとりもちに寄せられました門徒各位の愛山護法の御懇念まことにありがたく厚く御礼を申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

ます。昨年度は負担金で本山光寿堂門徒中懇志として広福寺分式拾万円、心光寺分五万円計式拾五万円を御本山へ上納いたしました。教化費で例年どおり聞法会に拾万円の補助金が交付されました。営繕管理費で本堂蛍光灯を増設し、本堂屋根の雨漏りを修理いたしました。また火災共済は昨年心光寺分三万五千六百円も負担することになり計十四万一千九百九十円の支出となりました。事業費で大門拡幅土工事・杉伐採で六拾三万七千四百円を支出しました。

今年度は境内井戸小屋が老朽化しており改築を検討することになりとりあえず事業費に七拾万円が計上されました。屋根形を含め寺院の伽藍配置に調和するように設計図ができ上がった段階で協議していただくことになりました。なお会議後になりましたりまして本山前御門主さまの御遷化、御葬儀があり御本山からの御依頼にそって御香儀を上納いたしました。このことも今後の会議で協議していただくこととなります。

**一戸当たり八千円の勸金** 今年も昨年同様一戸当たり八千円の勸金（本山と菩提寺の護持金）を八月までに上納して頂くことが申し合わされました。世話方のおられない地区は、住職がお願いに参上いたしますので何卒よろしくお願いを申し上げます。

**地区総代世話方の異動** 山岸・山崎地区の総代としてお世話頂いていた松居金治氏が辞任され今年度から後任として松居鉄雄氏が就任されました。また長崎地区総代の竹之内七栄氏がご病気で入院のため、代りに松井和弥氏からお世話頂くことになりました。今後当寺の護持経営のため御苦勞を煩わすことになりませんが、門信徒の皆様の御協力を切にお願い申し上げます。

**仏光寺派新潟教区ことしの行事御案内**  
 ○世話方研修会 六月八日(火)午前九時半  
 「真宗の教え」 広島、光徳寺藤田徹文先生 於黒崎町黒島 威 徳 寺  
 ○聞法の集い 六月十八日(金)午前九時半  
 「共に在ること」 谷大助教授延塚知道先生 会費千円 於弥彦村矢作 法 円 寺  
 なおこの聞法の集いは十月二十五日、同じ会場で二回目(窪沢泰忍先生)が開かれます。